

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築省エネ2014年改訂、省エネルギー性能評価方法と省エネ率算出

使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス新栄二丁目(3214)	階数	地上14F
建設地	愛知県名古屋市中区新栄二丁目3208番2	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内 市街化区域	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年6月3日
敷地面積	653 m ²	作成者	
建築面積	262 m ²	確認日	2024年6月4日
延床面積	2,680 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア= 3.1		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0
LR 環境負荷低減性 LR のスコア= 2.8		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.8 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア=2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 居住者が長く快適に健康的に過ごしていけるように室内環境へ配慮しつつも、汚染物質を少しでも発生させなかったりエネルギー消費を少しでも削減したりして室外、敷地外への影響も配慮して地球環境に優しい計画をおこなった。		
Q1 室内環境 自然光の効率的な利用をおこなうことで居住者の健康と快適性に配慮した。	Q2 サービス性能 将来の更新や用途変更などを含めて「空間のゆとり」に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の快適性を高めることで地域社会への配慮した。
LR1 エネルギー 建築物省エネ法におけるBPI、BEIを下げている通り建物運用時に発生するエネルギー消費を低減させる取り組みに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 建築物のライフサイクルにおける資源・マテリアル消費の低減、及び環境負荷削減へ向けた取り組みに配慮した。	LR3 敷地外環境 建築物の設備機器の運転により発生する大気汚染物質の抑制や植物などを利用した大気汚染物質の除去に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンス新栄二丁目(3214)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				2.8
LR1	エネルギー	2.9	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.1
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 2.8



2. 自然共生

評価点 = 2.9



3. 循環型社会

評価点 = 3.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。